

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 茨城県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	こころの医療センター	3
-	こども病院	4
北茨城市	北茨城市民病院	5
笠間市	笠間市立病院	6
筑西市	筑西市民病院	7
桜川市	さくらがわ地域医療センター	8
東海村	東海病院	9

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名			
病院名	中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	35,844 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	36	指定病院の状況	救臨がへ災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	475	69.9	70.6	66.5
療養	-	-	-	-
結核	25	0.4	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	500	66.4	67.1	63.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	12.4	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	2,867,009	
決算規模(千円)	1,220,658,113	
標準財政規模(千円)	670,201,892	
財政力指数	0.61671	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	166.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,181,389			
1 経常収益	19,151,996			
(1) 医業収益	15,909,792			
(うち修正医業収益)	15,701,614			
入院収益	9,659,470			
外来収益	5,879,316			
診療収入計	15,538,786			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	371,006			
(うち他会計負担金)	208,178			
(2) 医業外収益	3,242,204			
(うち国・都道府県補助金)	230,314			
(うち他会計補助・負担金)	2,020,040			
(うち長期前受金戻入)	556,664			
(うち資本費繰入収益)	178,875			
(3) 特別利益	29,393			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,181,840			
2 経常費用	19,178,411			
(1) 医業費用	18,265,743			
職員給与費	9,672,664	60.8	58.7	51.4
材料費	5,133,505	32.3	26.9	32.6
(うち薬品費)	3,266,519	20.5	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,773,732	11.1	11.7	13.9
減価償却費	999,553	6.3	8.5	7.4
経費	2,398,421	15.1	21.5	16.9
(うち委託料)	1,419,739	8.9	11.5	10.0
研究研修費	48,762			
資産減耗費	12,838			
(2) 医業外費用	912,668			
(うち支払利息)	32,828	0.2	0.9	0.8
(3) 特別損失	3,429			
経常損益	-26,415			
純損益	-451			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		96.5	97.6
医業収支比率	87.1		86.0	91.7
修正医業収支比率	86.0		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	11.6		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	14.0		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	11.6		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	88.2		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	32,450,169
1 固定資産	19,269,146
(1) 有形固定資産	18,862,121
(2) 無形固定資産	8,005
(3) 投資その他の資産	399,020
2 流動資産	13,181,023
(1) 現金及び預金	8,652,223
(2) 未収金及び未収収益	4,464,039
(3) 貸倒引当金()	59,602
(4) 貯蔵品	124,363
3 繰延資産	-
負債合計	16,916,765
1 固定負債	8,271,750
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,888,708
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,696,626
(6) リース債務	686,416
2 流動負債	4,301,434
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,545,639
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	649,378
(6) リース債務	307,409
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,689,047
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,343,581
(1) 長期前受金	18,610,920
(2) 長期前受金収益化累計額()	14,267,339
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	15,533,404
1 本金	14,224,499
2 剰余金	1,308,905
(1) 資本剰余金	202,135
(2) 利益剰余金	1,106,770
負債・資本合計	32,450,169
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,074,842	2,228,218
資本勘定繰入	530,295	530,295
計	2,605,137	2,758,513

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名			
病院名	こころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,917 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	臨 災
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	276	71.3	67.5	72.7
感染症	-	-	-	-
計	276	71.3	67.5	72.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,867,009
決算規模(千円)	1,220,658,113
標準財政規模(千円)	670,201,892
財政力指数	0.61671
経常収支比率(%)	93.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,770,444			
1 経常収益	3,769,307			
(1) 医業収益	2,811,112			
(うち修正医業収益)	2,524,015			
入院収益	2,002,672			
外来収益	509,459			
診療収入計	2,512,131			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	298,981			
(うち他会計負担金)	287,097			
(2) 医業外収益	958,195			
(うち国・都道府県補助金)	47,030			
(うち他会計補助・負担金)	732,995			
(うち長期前受金戻入)	121,802			
(うち資本費繰入収益)	15,524			
(3) 特別利益	1,137			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,872,287			
2 経常費用	3,866,455			
(1) 医業費用	3,719,295			
職員給与費	2,687,095	95.6	58.7	104.5
材料費	162,976	5.8	26.9	9.7
(うち薬品費)	125,647	4.5	14.8	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,329	1.3	11.7	1.6
減価償却費	235,233	8.4	8.5	12.8
経費	621,126	22.1	21.5	34.3
(うち委託料)	357,135	12.7	11.5	15.4
研究研修費	10,487			
資産減耗費	2,378			
(2) 医業外費用	147,160			
(うち支払利息)	41,810	1.5	0.9	2.2
(3) 特別損失	5,832			
経常損益	-97,148			
純損益	-101,843			
累積欠損金	3,192,515			
経常収支比率	97.5		96.5	98.6
医業収支比率	75.6		86.0	61.2
修正医業収支比率	67.9		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	27.1		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	36.3		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	27.1		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	71.1		85.4	64.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	32,450,169
1 固定資産	19,269,146
(1) 有形固定資産	18,862,121
(2) 無形固定資産	8,005
(3) 投資その他の資産	399,020
2 流動資産	13,181,023
(1) 現金及び預金	8,652,223
(2) 未収金及び未収収益	4,464,039
(3) 貸倒引当金()	59,602
(4) 貯蔵品	124,363
3 繰延資産	-
負債合計	16,916,765
1 固定負債	8,271,750
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,888,708
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,696,626
(6) リース債務	686,416
2 流動負債	4,301,434
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,545,639
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	649,378
(6) リース債務	307,409
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,689,047
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,343,581
(1) 長期前受金	18,610,920
(2) 長期前受金収益化累計額()	14,267,339
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	15,533,404
1 本金	14,224,499
2 剰余金	1,308,905
(1) 資本剰余金	202,135
(2) 利益剰余金	1,106,770
負債・資本合計	32,450,169
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	949,499	1,020,092
資本勘定繰入	97,811	97,811
計	1,047,310	1,117,903

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				茨城県	
市町村・組合名					
病 院 名					
こども病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,503 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	20	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	115	76.5	78.3	78.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	115	76.5	78.3	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	11.6	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	2,867,009	
決算規模(千円)	1,220,658,113	
標準財政規模(千円)	670,201,892	
財政力指数	0.61671	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	166.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,348,862			
1 経常収益	1,348,849			
(1) 医業収益	41,921			
(うち修正医業収益)	8,128			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	41,921			
(うち他会計負担金)	33,793			
(2) 医業外収益	1,306,928			
(うち国・都道府県補助金)	28,871			
(うち他会計補助・負担金)	953,426			
(うち長期前受金戻入)	194,552			
(うち資本費繰入収益)	108,836			
(3) 特別利益	13			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,587,156			
2 経常費用	1,587,152			
(1) 医業費用	1,514,154			
職員給与費	281,897	672.4	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	416,100	992.6	8.5	10.3
経費	807,602	1926.5	21.5	29.4
(うち委託料)	37,371	89.1	11.5	13.6
研究研修費	6			
資産減耗費	8,549			
(2) 医業外費用	72,998			
(うち支払利息)	18,493	44.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	4			
経常損益	-238,303			
純損益	-238,294			
累積欠損金	-			
経常収支比率	85.0		96.5	95.4
医業収支比率	2.8		86.0	79.1
修正医業収支比率	0.5		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	73.2		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	2355.0		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	73.2		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	22.8		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	32,450,169
1 固定資産	19,269,146
(1) 有形固定資産	18,862,121
(2) 無形固定資産	8,005
(3) 投資その他の資産	399,020
2 流動資産	13,181,023
(1) 現金及び預金	8,652,223
(2) 未収金及び未収収益	4,464,039
(3) 貸倒引当金()	59,602
(4) 貯蔵品	124,363
3 繰延資産	-
負債合計	16,916,765
1 固定負債	8,271,750
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,888,708
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,696,626
(6) リース債務	686,416
2 流動負債	4,301,434
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,545,639
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	649,378
(6) リース債務	307,409
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,689,047
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,343,581
(1) 長期前受金	18,610,920
(2) 長期前受金収益化累計額()	14,267,339
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	15,533,404
1 本金	14,224,499
2 剰余金	1,308,905
(1) 資本剰余金	202,135
(2) 利益剰余金	1,106,770
負債・資本合計	32,450,169
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	980,963	987,219
資本勘定繰入	270,136	270,136
計	1,251,099	1,257,355

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名	北茨城市		
病院名	北茨城市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	13,783 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 へ 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	137	69.4	60.3	55.1
療養	46	54.0	68.2	66.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	183	65.5	62.3	58.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	14.8	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	41,801	
決算規模(千円)	20,966,708	
標準財政規模(千円)	10,891,661	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	97.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,523,758			
1 経常収益	3,523,758			
(1) 医業収益	3,161,906			
(うち修正医業収益)	2,966,243			
入院収益	1,556,512			
外来収益	1,269,892			
診療収入計	2,826,404			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	335,502			
(うち他会計負担金)	195,663			
(2) 医業外収益	361,852			
(うち国・都道府県補助金)	39,265			
(うち他会計補助・負担金)	105,773			
(うち長期前受金戻入)	73,879			
(うち資本費繰入収益)	99,831			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,768,552			
2 経常費用	3,768,022			
(1) 医業費用	3,593,670			
職員給与費	1,898,619	60.0	58.7	67.7
材料費	367,893	11.6	26.9	18.3
(うち薬品費)	172,219	5.4	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	189,998	6.0	11.7	9.1
減価償却費	339,509	10.7	8.5	10.3
経費	975,320	30.8	21.5	29.4
(うち委託料)	430,032	13.6	11.5	13.6
研究研修費	2,346			
資産減耗費	9,983			
(2) 医業外費用	174,352			
(うち支払利息)	33,298	1.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	530			
経常損益	-244,264			
純損益	-244,794			
累積欠損金	1,583,717			
経常収支比率	93.5		96.5	95.4
医業収支比率	88.0		86.0	79.1
修正医業収支比率	82.5		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	8.6		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	85.5		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,302,819
1 固定資産	5,753,209
(1) 有形固定資産	5,465,651
(2) 無形固定資産	13,592
(3) 投資その他の資産	273,966
2 流動資産	1,549,610
(1) 現金及び預金	618,774
(2) 未収金及び未収収益	910,217
(3) 貸倒引当金()	79
(4) 貯蔵品	16,435
3 繰延資産	-
負債合計	5,617,453
1 固定負債	3,223,959
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,092,581
(2) その他の企業債	101,307
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	752,368
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	214,819
(2) その他の企業債	57,648
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	122,582
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	334,885
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,641,126
(1) 長期前受金	2,795,666
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,154,540
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,685,366
1 資本金	3,026,683
2 剰余金	-1,341,317
(1) 資本剰余金	242,400
(2) 利益剰余金	-1,583,717
負債・資本合計	7,302,819
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	312,855	301,436
資本勘定繰入	99,831	132,151
計	412,686	433,587

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名	笠間市		
病院名	笠間市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	2,670 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	30	85.4	85.6	89.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	85.4	85.6	89.1
平均在院日数(一般病床のみ)		30.8	30.1	28.9

設立団体の状況		
人口(人)	73,173	
決算規模(千円)	34,003,274	
標準財政規模(千円)	19,818,212	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	859,391			
1 経常収益	857,956			
(1) 医業収益	775,242			
(うち修正医業収益)	732,192			
入院収益	294,305			
外来収益	309,468			
診療収入計	603,773			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	171,469			
(うち他会計負担金)	43,050			
(2) 医業外収益	82,714			
(うち国・都道府県補助金)	908			
(うち他会計補助・負担金)	69,594			
(うち長期前受金戻入)	8,907			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,435			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	922,248			
2 経常費用	922,248			
(1) 医業費用	869,946			
職員給与費	481,220	62.1	58.7	89.5
材料費	128,910	16.6	26.9	13.4
(うち薬品費)	100,735	13.0	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,041	2.8	11.7	5.5
減価償却費	80,390	10.4	8.5	14.0
経費	175,344	22.6	21.5	46.3
(うち委託料)	86,688	11.2	11.5	22.2
研究研修費	3,961			
資産減耗費	121			
(2) 医業外費用	52,302			
(うち支払利息)	1,764	0.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-64,292			
純損益	-62,857			
累積欠損金	62,857			
経常収支比率	93.0		96.5	97.3
医業収支比率	89.1		86.0	60.9
修正医業収支比率	84.2		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	13.1		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	80.8		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,502,401
1 固定資産	1,046,813
(1) 有形固定資産	1,046,776
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	37
2 流動資産	455,588
(1) 現金及び預金	216,316
(2) 未収金及び未収収益	227,709
(3) 貸倒引当金()	10
(4) 貯蔵品	11,573
3 繰延資産	-
負債合計	1,072,070
1 固定負債	867,736
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	867,736
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	114,582
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,279
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,844
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	44,346
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	89,752
(1) 長期前受金	169,360
(2) 長期前受金収益化累計額()	79,608
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	430,331
1 資本金	493,188
2 剰余金	-62,857
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-62,857
負債・資本合計	1,502,401
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	50,624	112,644
資本勘定繰入	25,449	25,449
計	76,073	138,093

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名	筑西市		
病院名	筑西市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	100,753	
決算規模(千円)	46,399,681	
標準財政規模(千円)	26,050,670	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	51.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,019			
1 経常収益	25,019			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	25,019			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	25,019			
2 経常費用	25,019			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	-	-	8.5	10.3
経費	-	-	21.5	29.4
(うち委託料)	-	-	11.5	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	25,019			
(うち支払利息)	25,019	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	95.4
医業収支比率	-		86.0	79.1
修正医業収支比率	-		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	79.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名	桜川市		
病院名	さくらがわ地域医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,536 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	80	54.8	49.8	58.2
療養	48	96.7	94.1	95.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	128	70.5	66.4	72.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	17.5	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	39,122	
決算規模(千円)	20,803,318	
標準財政規模(千円)	11,825,516	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	14.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	544,125			
1 経常収益	544,125			
(1) 医業収益	6,167			
(うち修正医業収益)	6,167			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	6,167			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	537,958			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	253,072			
(うち長期前受金戻入)	260,751			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	544,125			
2 経常費用	544,125			
(1) 医業費用	495,689			
職員給与費	-	-	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	380,664	6172.6	8.5	10.3
経費	115,025	1865.2	21.5	29.4
(うち委託料)	113,207	1835.7	11.5	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	48,436			
(うち支払利息)	23,445	380.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	95.4
医業収支比率	1.2		86.0	79.1
修正医業収支比率	1.2		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	46.5		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	4103.6		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	46.5		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	53.5		85.4	79.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,565,371
1 固定資産	4,694,261
(1) 有形固定資産	4,680,015
(2) 無形固定資産	14,246
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	871,110
(1) 現金及び預金	425,423
(2) 未収金及び未収収益	445,687
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,520,289
1 固定負債	3,894,944
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,893,944
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	204,581
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	193,031
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	11,550
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,420,764
(1) 長期前受金	2,448,308
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,027,544
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	45,082
1 資本金	13,951
2 剰余金	31,131
(1) 資本剰余金	27,720
(2) 利益剰余金	3,411
負債・資本合計	5,565,371
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	253,072	253,072
資本勘定繰入	190,610	190,610
計	443,682	443,682

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				茨城県	
市町村・組合名	東海村				
病院名	東海病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,202 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	40	75.3	74.9	71.7
療養	40	82.7	78.9	72.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	79.0	76.9	71.8
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	14.3	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	37,891	
決算規模(千円)	21,215,505	
標準財政規模(千円)	12,109,705	
財政力指数	1.38	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	338,841			
1 経常収益	338,841			
(1) 医業収益	7,202			
(うち修正医業収益)	7,202			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	7,202			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	331,639			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	314,814			
(うち長期前受金戻入)	10,674			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	345,574			
2 経常費用	345,574			
(1) 医業費用	308,518			
職員給与費	5,943	82.5	58.7	78.7
材料費	-	-	26.9	14.5
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	6.1
減価償却費	176,692	2453.4	8.5	11.8
経費	125,728	1745.7	21.5	32.3
(うち委託料)	7,947	110.3	11.5	15.3
研究研修費	-			
資産減耗費	155			
(2) 医業外費用	37,056			
(うち支払利息)	20,174	280.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-6,733			
純損失	-6,733			
累積欠損金	133,631			
経常収支比率	98.1		96.5	96.4
医業収支比率	2.3		86.0	72.4
修正医業収支比率	2.3		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	92.9		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	4371.2		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	92.9		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	7.0		85.4	73.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,523,110
1 固定資産	2,883,375
(1) 有形固定資産	2,877,314
(2) 無形固定資産	80
(3) 投資その他の資産	5,981
2 流動資産	1,639,735
(1) 現金及び預金	1,637,748
(2) 未収金及び未収収益	352
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,214,113
1 固定負債	848,767
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	848,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	99,957
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,115
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	762
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,080
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	265,389
(1) 長期前受金	504,609
(2) 長期前受金収益化累計額()	239,220
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,308,997
1 資本金	3,442,243
2 剰余金	-133,246
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-133,246
負債・資本合計	4,523,110
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	125,029	314,814
資本勘定繰入	-	-
計	125,029	314,814

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1855.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。